

万感の情 - ひげ者です。(2006年09月16日01時19分47秒)

いよいよ明日までとなりました。お名残惜しう存じます。

帰りがけ受講生どうして飲みいく機会などもなく、これで永の別れとなるやも知れませぬ。古人の情を思い起こしますなあ。

渭城の朝雨 軽塵を諸、す。客舎 青青たる柳色新たなり。

君に勧む 更に尽せ一杯の酒。西のかた陽関を出づれば故人無からん。

春の詩ですが。

先生には大変お世話になりました。いくら言葉を尽くしても表し切れないほどの師恩を賜りました!! 頓首頓首!!

ところで、分類 - 件名 - 目録の演習以降、僭越ながら「補習ボランティア」のようなこともし、資料組織演習の図書館訪問先として、4人ばかりを受け入れたりしましたが、まあ能事畢るといっていいのでしょうか。何分にも同年配の層と出会う機会が少なく、交流を深める場がなかったのが心残り。年齢で言えば、先生& I先生とは御同輩と拝察いたしました。

「また何かの機会に」などという心にもない紋切り型の口上は述べますまい。ともかく明日、ご尊顔を拝し奉りたいと存じます。

- ・励みになる書き込みをありがとうございました。講習後も何か私どもでできることがありましたら、お気軽にメールなりをいただければと思います。本当にお疲れさまでした。 - あがた (2006年09月16日16時02分30秒)